

Yokohama  
ふくしネットワーク

# Y ネット通信

〔発行〕  
横浜ふくしネットワーク  
(代表：直井 明)  
〔編集責任者〕 福山 修三  
野地 貞光  
横浜市泉区上飯田町 1987  
☎ 045 (802) 0441

## 【加盟施設長寄稿】 Y ネットと昔ながらの施設

障害者支援施設 『偕恵』 施設長 多門敏夫

障害者支援施設『偕恵』の施設長『多門敏夫』と申します。Yネット加盟施設の皆様、OPの皆様にはいつもお世話になっています。

ところで、当施設は本年3月までは『偕恵学園』という施設名でした。創立の主旨は中学校の特殊クラスを卒業した知的障害の方々に職を持っていただき自立できるよう寄宿訓練を行うということで、まさしく『学園』といってもおかしくない状態でしたが、現在は創立からの利用者は40年在籍されていますし、平均年齢も50歳代で、遅ればせながら『学園』という名前を卒業させていただきました。

以前、OPの加藤理事長より、『様々な問題はあるでしょうが、ハンディのある方々が地域に溶け込むことにより、地域社会がより豊かになっていくのではないかと』と当施設の機関紙に投稿していただきましたが、当施設では今までなかった門がで、今まで少なかった鍵も施錠するようになってきました。

区切りをつけて、視界をさえぎることにより安定される利用者の方もいらっしゃることは事実ですが、違和感を感じることも事実です。施設という集団生活で6畳の部屋に二人で生活する毎日で、一定期間でなく長期間の利用を余儀なくされるという利用者の皆さんの現実、ノーマルとはとてもいえません。そして、その不自由な暮らしをしている利用者の方々の社会参加を支援するという支援員の役割は困難を極めるといいと思います。

利用者の方々はもともと持っている障害に加え、現状の様々な不自由さを抱え、主体的に行動する意欲がなくなっても当たり前だと思います。少々の支援があっても、それ以上の困難を抱えているわけですから。

支援員はそれでも支援を続けさせていただきます。絶えず振り返りを行いながら。利用者の皆さんが少しでも今よりその人らしい生活を送るために。様々な情報をわかりやすく伝え、判断材料を少しでも多くしていただくために。支援員は現状を認識し、少しでも利用者の方々が前向きになっていただくように信頼関係を作っていく、小さな前進とともに(偕)喜び、その実現のため地域に開かれた施設にし、地域にも貢献していければと思っています。

Yネットは『利用者の権利擁護』という施設にとっての大命題について、心を同じくする施設同士が連携を取り合い、OPの力をお借りして、内部だけでは解決できないいろいろなことを社会化していただけます。もっともっと仲間を増やしていけたらと思います。



## <加藤正泰OPネット理事長インタビュー>

Y ネット加盟施設のOP（オンブズパーソン）の方々の組織、「NPO 法人福祉オンブズパーソン・Yokohama-Net（通称：OP ネット）」。

今回はそのOPネットの理事長を務められている、加藤正泰さんにインタビューをさせていただきました。



### ・プロフィールについて

#### ー ご出身はどちらですか？

生まれ育ちは横浜です（市内を転々と育ちました）

#### ー ご家族は・・・

私のやることなすことがすべて気に入らないらしい妻と、反抗期真っ盛りの長男（中3）、長女（中1）がおります。また、子犬の頃から我が家にきて5年、未だに家族に全く懐かない犬を飼っています。何か気に入らないことがあるとすぐ噛みつくので、うっかり触れません。（笑）

#### ー ご趣味、特技は何ですか？

趣味は読書と島巡り、特技は特にありませんが、高い尿酸値をものともせずビールを飲み続けることでしょうか。

#### ー 座右の銘などがあれば教えてください。

座右の銘とは言えないと思いますが、最近は「なんくるないさぁ」（沖縄の方言で「何とかなるさ」と言うような意味）という言葉が気に入っています。このところ沖縄に接する機会が多くて感化されているのだと思います。

### ・司法書士とオンブズパーソンについて

#### ー 加藤理事長は、普段は「司法書士」としてご活躍されておられます。大変初歩的なご質問となり、恐縮ですが、「司法書士」とはどのようなお仕事なのでしょう。

わかりにくい職業ですみません。私自身も25歳までこの職業を知りませんでした。

主な仕事の内容は、簡単に言えば、法務局や裁判所に提出する書類を作成する仕事です。

例えば、家を買ったときに登記をする（これによって所謂「権利証」が出来ます）、とか、借金を負ってしまって困っている人の相談にのって法律的に解決を図ったり、認知症の人や知的障害の方々の成年後見人になる、といったような仕事をしています。

#### ー どのような経緯で福祉に関わり、そしてオンブズパーソン（以下OP）としてご活躍されることになったのでしょうか。

昔から福祉には何となく興味がありましたが、直接福祉と接する機会は全くなく、ずぶの素人です。OPになったのは、簡単に言えば仲間の司法書士のOPに騙されて（笑）加入させられたからです。

### ・OPの仕事

#### ー OPネットでは、新しいOPさんも加わったようですが、どのように募集し、選考し、研修を行っているのですか。

現在のところ、OPの募集というよりも、人数が足りないので、各OPが、このような活動に興味がありそうな人を誘い込んでいる、という状況です。ですので、特に選考という課程は今のところありませんが、研修については、現在では一定の基準を設定し、その研修課程を経なければOPとして活動できないような形になっています。

#### ー OPという存在やその役割について、あまりご存じでない方、馴染みがない方もおられると思います。あらためて、OPに求められる役割や資質とはなんなのでしょうか。

OPの役割としては、基本として、利用者さんの声やニーズをきちんと伺い、施設等へちゃんと伝えていくことではないかと思います。また、どういう資質がOPに求められているのか、というのは正直、私にはよく分かりませんが、あえてあげれば「人の話をきちんと聴ける」姿勢は最低限必要であろうと思います。

- ー OPとして活動する中で嬉しかった（よかったと思う）事、また、難しいな（困ったな）と思ったことは何ですか。

一番嬉しいのはやはり、大きなことであれ小さなことであれ、利用者さんから寄せられた声を伝え、それが実現したときです。難しい、または困ったと思うことは、私の場合、やはり福祉的なスキルがないので、発語のない方や重度で意思表示が難しい方などとのコミュニケーションに力不足を痛感するときです。

- ー OPという仕事を通じて実感する事は何ですか。

ご質問の趣旨と違うかもしれませんが、私自身が今強く実感しているのは、福祉に対する施策が、以前に比べ格段に悪化している現状です。法や施策がころころ変わるたびに、福祉の現場が混乱し、結局、様々なしわ寄せが、利用者さんが暮らす現場に生じてしまっている気がしてなりません。個人的には、力及ばずながらそのような現状に対し、自分に何が出来るのか、思い悩んでいるような状態です。

### ・今後の展望とメッセージ

- ー これからYネットへの加入を考えている（OPの訪問・活動を受けることを考えている）施設の方に伝えたい事は何でしょうか。

OPというと「施設に第三者が入る」という側面から、ともすれば何か監視団体のようなイメージをもたれがちですが、あくまでも利用者さんの声を施設等へ届けるメッセンジャーとしての役割を担う機関です。ですから、利用者さんのために、是非OPを活用していただければと思います。

- ー 今後のOPネット活動の展望についてお聞かせください。

現在、私たちも暗中模索というところではありますが、今後もっとメンバーを増やして、多くのニーズに応えられるようにしていきたいと考えております。

- ー 最後に、各種事業所などに従事している施設職員へのメッセージをお願いします。

福祉の現場というのは、やはり最後のセーフティーネットとしての役割が求められているのだと思います。現状の社会施策の中では、その機能を十分に果たすことが難しい面も多分にあるとは思いますが、皆さんの活力で、そのネットにすぎるしかない方々の想いを受け止めていただければと思います。辛いときには、「なんくるないさあ」と唱えて、共に頑張りましょう。

- ー ありがとうございました。

### <Y ネット主催 各種学習会のお知らせ>

#### ① Y ネット職員研修会（事例検討会）開催について

加盟施設での人権に関わる事例や支援困難事例の検討を通じて、職員意識の向上を図り、利用者支援の質を高めることを目的として開催します。

講 師： 市川 和彦氏（創造学園大学専任講師）

日 時： 平成 21 年 2 月 9 日（月）午後 2：00～

会 場： 神奈川県社会福祉会館

※詳しい内容のお問い合わせ、参加申し込みは・・・

松風学園 045-802-0441（担当：直井）までお願いします。

#### ② Y ネットセミナー開催について

今年度も、利用者の方々の本人活動促進のための学習会『Y ネットセミナー』を開催します。Y ネット加盟施設以外の方の参加も歓迎いたします。

日 時： 平成 21 年 2 月 20 日（金）午前 10 時 30 分～午後 0 時

会 場： 神奈川県社会福祉会館 参加費： 無料

※詳しい内容のお問い合わせ、参加申し込みは・・・

白根学園 光の丘 045-951-2620（担当：高橋）までお願いします。

Ｙ ネット加盟施設一覧 （平成２０年６月現在） 加盟施設：１２ 団体（１４ 施設）

団体名	代表者	担当ＯＰ	住所	電話番号
恵和青年寮	林 智子	坂本 雅弥 伊藤 みどり	〒240-0035 保土ヶ谷区今井町 691	353-0661
恵和館	武井 達雄	菊池 哲也 大上 和成	〒240-0035 保土ヶ谷区今井町 691	353-0661
偕恵	多門 敏夫	加藤 正泰 鈴木 康昭	〒241-0001 旭区上白根町 783	951-3436
白根学園 社会就労センター白根	菅野 善也	厚坂 幸子 大上 和成	〒241-0005 旭区白根 7-10-6	955-1264
白根学園 白根青年寮	笠井 真人	伊藤 みどり 高橋 正長	〒241-0005 旭区白根 7-31-7	953-3307
光の丘 ----- 風の丘	飯山 文子	藤井 里絵 石井 寛昭	〒241-0005 旭区白根 7-10-6	951-2620
しらねの里	正宗 忠	石光 隆志 伊藤 みどり	〒241-0001 旭区上白根町 1092	954-5210
のばら園 ----- すみれ園	浜走 弘之 明 秀行	中畝 治子 田村 左千男	〒240-0025 保土ヶ谷区狩場 200-6	742-1250 742-1252
なしの木学園	加藤 慎二	厚坂 幸子 高橋 正長	〒245-0017 泉区下飯田町 330	804-6981
空とぶくじら社	作山 良江	堀田 珠紀 田村 左千男	〒241-0014 旭区市沢町 557-3	382-1002
リエゾン笠間	富田 義憲	加藤 正治 伊藤 みどり	〒247-0006 栄区笠間 3-10-1	898-3533
松風学園	直井 明	厚坂 幸子 大上 和成	〒245-0018 泉区上飯田町 1987	802-0441

○賛助会員 泉地域活動ホームかがやき 牧 信宏 泉区中田北 3-6-55 TEL804-6932

<編集後記>

Ｙ ネット通信も創刊から 1 周年を迎え、無事に第 3 号を発行することができました。小さな歩みではありますが、一步一步を確実に歩んで行けたら、と思っております。

今後ともよろしくお願い申し上げます。

(広報活動実行委員一同)